

2024年9月11日

報道関係各位

GMOメディア株式会社

## GMOメディア、paiza と連携し 高校生のプログラミング教育と教務 DX の支援を強化 ～2025 年度大学入学共通テストへの「情報 I」追加を見据え、無償提供サービスを拡大～

GMO インターネットグループの GMO メディア株式会社（代表取締役社長：森 輝幸 以下、GMO メディア）は、paiza 株式会社（代表取締役社長/CEO：片山良平 以下、paiza）と連携して、高校生のプログラミング教育や教員の教務 DX への支援を強化します。

GMO メディアは、高校の学校 DX 支援を目的とした小テスト作成ツール「コエテコ Study byGMO」を、paiza は、動画と問題で学べる、就職・転職直結型オンラインプログラミング学習サービス「paiza ラーニング 学校フリーパス」を提供しています。

本連携により、まずは 2024 年 9 月を目前に、両社のサービス利用者に向け、プログラミング教育に関する最新情報の提供をメールマガジンやサービスサイトなどにおいて開始する予定です。

今後は、キャンペーンやイベント実施や、新たなコンテンツの制作などを検討し、両社の強みを生かした高校生へのプログラミング教育支援と教員の教務 DX 強化を図ります。



### 【連携の背景】

文部科学省の「学習指導要領」改定の一環として、2020 年度から小学校、2021 年度から中学校でのプログラミング学習が必修となりました。そして、高校の教育課程においても、2022 年度よりプログラミングが学習内容となる科目「情報 I」が必修となり、2025 年度には大学入学共通テストにも追加されます。

しかし、高校生へのプログラミング教育に対しては、専門知識を持つ教員の不足や、学習教材の準備など、教育現場では多くの課題を抱えているのが現状です<sup>(※1)</sup>。

このような課題を解決すべく、これまで GMO メディアでは「コエテコ Study byGMO」を、paiza では「paiza ラーニング 学校フリーパス」をプログラミング教育を支援するサービスとして、各社が教育現場へ無償提供<sup>(※2)</sup>してきました。

両社は今後、プログラミング教育の支援をさらに強化し、より多くの高校生が質の高い教育を受けられる環境づくりを目指し、今回の連携を決定いたしました。

(※1) みんなのコード：2022 年度プログラミング教育・高校「情報 I」実態調査報告書

<https://speakerdeck.com/codeforeveryone/programmingeducationreport2022>

(※2) 「コエテコ Study byGMO」は、サービス改善のための実証実験への参加を条件に 2025 年 3 月 31 日まで無償提供しています

## ■ 連携内容

- ・ 両社のサービス利用者へ両社のプログラミング教育に関する最新情報を提供
- ・ 両社のサービス利用者へ向けたキャンペーンやイベントの検討
- ・ 両社サービスの強みを生かしたコンテンツ制作の検討

## 【今後の展望】

GMO メディアと paiza は、今後も協力体制を強化し、より多くの高校生がプログラミング教育の楽しさを実感できるサービス開発を進めることで、教務 DX の促進やプログラミング教育に関する情報による、プログラミング教育の支援強化に繋がることを期待しています。また、大学入学共通テストへの「情報 I」追加を見据え、受験対策としても活用できるサービスの提供を目指します。

## 【「コエテコ Study byGMO」とは】（URL：<https://study.coeteco.jp/top>）

「コエテコ Study byGMO」は、生成 AI が、科目「情報 I」の教科書内容に沿った問題を 3,000 問以上作問し、簡単に小テストを作成することができるツールです。この生成 AI による作問技術は、2024 年 5 月に特許技術として出願しております。

生徒は教員により作成された問題を CBT 形式<sup>(※3)</sup>で解くことができ、解答した問題やその結果は、教員・生徒ともにオンラインでいつでも確認することができます。

(※3) CBT とは、Computer Based Testing の略で、コンピュータを使用した試験方法のことです。

## ■ 特徴

### ・ 教科書の目次やページから簡単に小テストの作成が可能

- 教科書に沿った科目「情報 I」の問題が 3,000 問以上収録されており、小テストを通じて手軽に授業の振り返りや、理解度チェックが可能。

### ・ 生徒の回答は自動採点されるので、すべての解答の確認が不要

- テスト終了後に、生徒も即座に結果の確認が可能。教員の採点にかかる時間も大幅に削減。

### ・ 分かりやすい解説

- 生徒は、採点結果のページで各問題の解説を確認することができ、理解を深めることが可能。

### ・ 生徒やクラス別に成績の評価と蓄積が可能

- 教員は、各生徒の今までの結果推移や解答状況などを簡単に確認することができ、生徒の取り組みを成績評価に反映可能。

### 【「paiza ラーニング 学校フリーパス」とは】 (URL : [https://paiza.jp/works/lp/free\\_pass](https://paiza.jp/works/lp/free_pass))

月額 1,490 円 (税込) の「paiza ラーニング」を小・中・高・大学・専門学校向けに無料で提供するサービスです。「paiza ラーニング」は動画と問題で学べる、就職・転職直結型オンラインプログラミング学習サービスで、全 260 レッスン、2,100 学習動画、4,500 問の演習課題が利用できます。「学校フリーパス」ではそれらのコンテンツをすべて無料で利用できます。受講者は 6 段階で評価されるプログラミングスキル評価システム「paiza スキルチェック<sup>(※4)</sup>」を受け、その結果をもとに自身のスキルにあった学習をすることができます。2019 年 8 月の提供開始以来、高校、大学、専門学校を中心に全国の学校で利用されており、2023 年度は申し込み学校数が 574 校、クーポン発行数が 12 万人を突破しました。

### 【GMO メディアについて】 (URL : <https://www.gmo.media/>)

GMO メディアは、創業以来インターネット上で自社開発・自社運営のサービス群であるメディア事業を中心に展開しています。現在はプログラミング教育ポータル「コエテコ byGMO」と美容医療の情報に特化した「キレイパス byGMO」の 2 事業を投資育成し、それぞれプログラミング教室や医療機関の DX を支援するサービスも展開しています。さらに「ポイ活」などポイントインセンティブに感度の高いユーザーを起点とした EC メディアの運営も行っています。

### 【paiza について】 (URL : <https://www.paiza.co.jp>)

paiza は IT エンジニア向け転職・就職・学習プラットフォームです。オンラインでプログラミングテスト「paiza スキルチェック<sup>(※4)</sup>」を受験してスキルを証明し、それを使って転職・就職する独自のサービスで、2024 年 7 月現在、paiza の登録者数は約 75 万人、4,400 社を超える企業が採用に利用しています。「paiza スキルチェック」の総受験回数は 2,760 万回 (2024 年 7 月現在) に達しています。

「世界を変えるのは、異能だ。」と考える paiza では、「異能をのばせ。」をコンセプトに「人と企業に絶え間ない成長を促す唯一無二のプラットフォーム」作りを行っています。今後ともこのプラットフォームを通じて、IT 人材を採用する企業、IT 人材を育成する教育機関、IT 人材として活躍する・活躍を目指す個人に役立つサービスの提供を行ってまいります。

(※4) 「paiza スキルチェック」

paiza が特許を取得したプログラミングスキル評価システム (特許番号 第 5649148 号)。オンライン上で実際にコーディングテストを行い、受験者のプログラミングスキルを 6 段階 (S~E の paiza ランクを付与) で客観的に可視化する

※本件に関して、業績に与える影響は軽微です。

以上

**【報道関係お問い合わせ先】**

- GMO メディア株式会社  
コーポレート部 広報担当 黒田  
TEL : 03-5456-2626  
E-mail : [pr@gmo.media](mailto:pr@gmo.media)

**【本件に関するお問い合わせ先】**

- GMO メディア株式会社  
事業開発本部 教育サービス事業部  
TEL : 03-5456-2626  
E-mail : [coeteco-support@gmo.media](mailto:coeteco-support@gmo.media)

- GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 田部井

TEL : 03-5456-2695

問い合わせフォーム : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

**【GMO メディア株式会社】 (URL : <https://www.gmo.media/>)**

会社名	GMO メディア株式会社 (東証グロース市場 証券コード : 6180)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 森 輝幸
事業内容	■メディア事業 ■ソリューション事業
資本金	7 億 6,197 万円

**【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)**

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資本金	50 億円

※記載されている会社名・製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

Copyright (C) 2024 GMO Media, Inc. All Rights Reserved.